

11月26日の米国株式市場の下落について

新型コロナウイルス「オミクロン株」への懸念で大幅安

2021年11月29日

「オミクロン株」による市場の不安定化は一時的と想定

感謝祭の祝日（市場は休場）明けだった26日（現地）の米国株式市場は、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数が、いずれも2%を超える下落となりました。南アフリカで発見された新型コロナウイルスの新たな変異株への警戒感が急速に高まったためです。

新たな変異株に関しては、WHO（世界保健機関）がデルタ株などと同じ最も警戒レベルが高い「懸念される変異株」に分類し、名称を「オミクロン株」とすることを発表しています。すでに欧州各国や、豪州、香港、イスラエルなどで感染者が報告されており、感染の世界的な拡大が懸念される状況になりつつあります。米国では現時点でオミクロン株の感染者は報告されていませんが、ニューヨーク州では足元で既存の新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあったことに加え、オミクロン株のリスクが高まったことから、ホークル州知事が医療従事者や病床確保のため非常事態を宣言しました。

このような状況を受け、米国株式市場では当面リスク回避姿勢が強まり、株価は不安定な推移となりそうです。ただし、昨年春以降の新型コロナウイルスに対する米国株式市場の反応を振り返ると、感染拡大初期以外は、下落の幅や期間は限定的であったことから、今回についても不安定な市場の動きは一時的なものにとどまると考えられます。

■ 米国株式市場主要指数の推移

(2020年1月初～2021年11月26日)

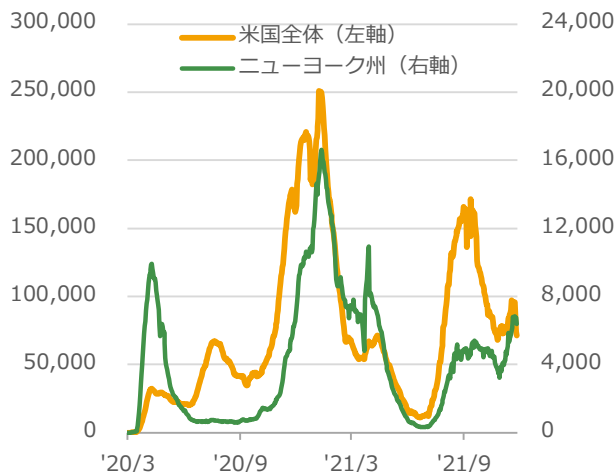


※2020年1月初を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

■ 新型コロナウイルス新規感染者数の推移

(人) (2020年3月初～2021年11月27日) (人)



※いずれも7日移動平均

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。